

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

宮崎県高千穂町 国保病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	9	-	ド透訓	救臨
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
11,327	8,351	第2種該当	-	10：1

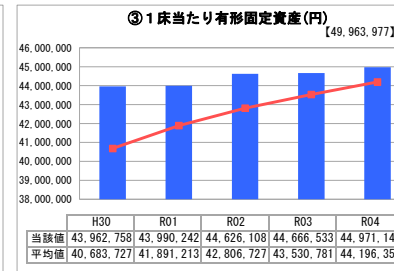
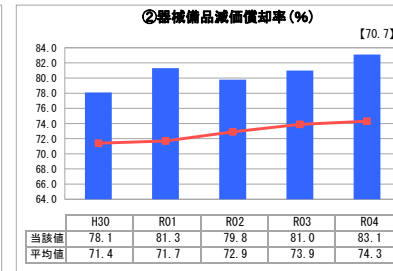
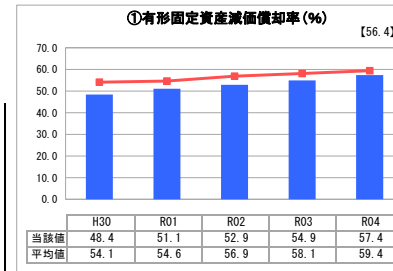
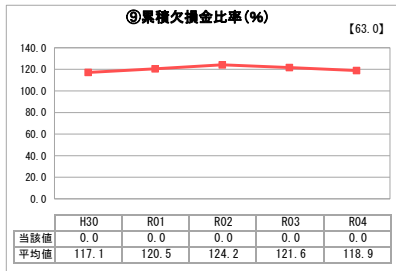
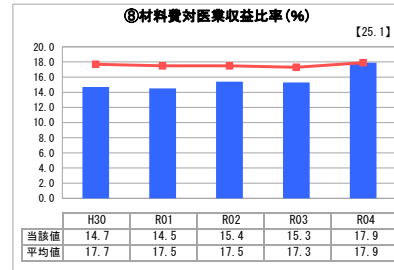
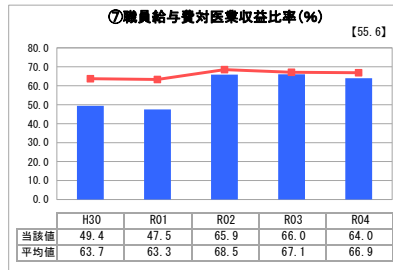
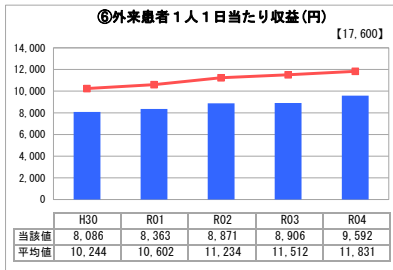
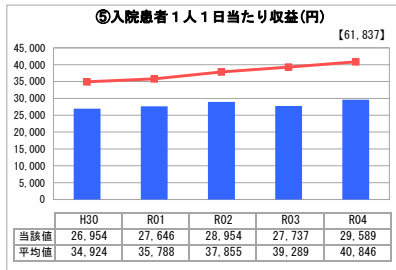
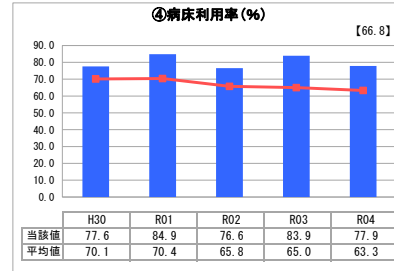
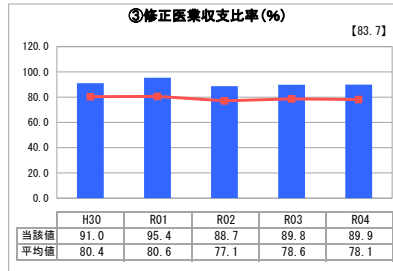
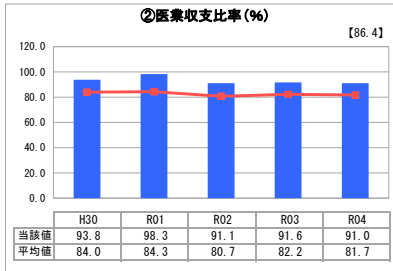
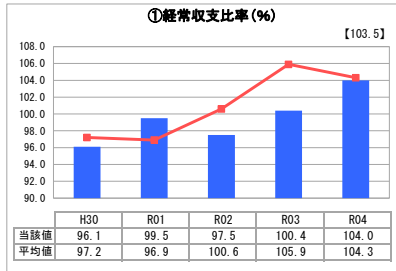
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
60	60	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
57	55	112

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[ ]	令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
業務分化・連携強化 (従来の有価・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

## I 地域において担っている役割

本院は、二次救急病院として高千穂町はもとより西臼杵の中核病院として役割を担ってきたが、近年は開業医の高齢化や後継者不足による閉院等により一次救急患者の診察や「かかりつけ医」の役割も担わざるを得ない状況が続いている。また、本町は糖尿病患者数が県内でも上位を占め透析患者予備軍が多い地域でもあり郡内では唯一人工透析を行っている。更に、郡内で唯一訪問看護ステーションを病院内に設置し在宅復帰後の支援を積極的に行っている。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度一般会計からの繰入金については、前年度と同額の300,000千円であった。  
 （収益）については、入院収益が9,309千円減、外来収益が62,333千円増、医業外収益が127,315千円増で前年度比156,591千円増となった。  
 （費用）については、減価償却費が16千円増、職員給与費が19,594千円減、医業外費用が27,474千円増で前年度比73,858千円増となり、令和4年度は純利益92,452千円で黒字経営となった。

### 2. 老朽化の状況について

器械備品減価償却率が、全国平均、類似病院平均を超えてしまっており、資産の老朽化が進んでいるが、耐用年数を迎え更新が必要な時期にきている医療機器も多いので、計画的に投資していく必要がある。  
 1床あたり有形固定資産は平均を上回っているが例年よりも差が小さくなっている。

### 全体総括

本院は、平成11年4月より診療を開始しているため医療機器や機械設備の老朽化が進んでいる。経常収支比率が令和4年度は100%を上回り、現金も増加に転じたが、今後必要な器械備品（電子カルテ、MRIなど）、機械設備等の更新が控えているため、より一層の経営努力・改善を行っていく必要がある。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。